

第29回交通運輸政策研究集会を開催



5月20日～21日、都内において開催され、JR連合と共に貨物鉄産労からは橋爪書記長が参加しました。

本集会では「人材不足を克服し魅力ある持続可能な交通運輸・観光サービス産業を創るために」をテーマに、基調講演としてNX総合研究所の大原主任研究員より「産業の基盤たる人材の確保と定着に向けて」、流通経済大学の板谷教授より「持続可能な交通運輸・観光サービス産業を創るために」を拝聴し、各モードにおける人材不足の現状や料金制度見直しの動向、人材の確保・定着・離職防止に向けた取り組み、女性活躍にとっての隘路となっている課題解決など多岐にわたり課題提起を頂きました。

パネルディスカッションでは「人材不足を克服し魅力ある持続可能な交通運輸・観光サービス産業を創るために」をテーマに、基調講演のお二人に加え、運輸労連の今井書記次長と航空連合の坂元副事務局長、交運労協の慶島事務局長をパネラーとし、各組織の現状と取り組みをご紹介頂くと共に今までの仕事に合わせた働き方から「働き手に合わせた仕事の仕方・働き方」、社会全体にゆとりを持たせる重要性、お客様ファーストから従業員ファーストへなど社会全体の変容の必要性を訴えました。

2日目には「人流・観光サービス」、「物流・モーダルミックス」、「男女平等参画・女性活躍」の3つの分科会に分かれ、改正地域交通法を活かした取り組み、地域協議会への労組の関わり、物流クライシスへの対応、モーダルミックス実現に向けての課題、女性組合員のキャリア形成への向き合い方、ハラスメント防止に向けた課題についてそれぞれ議論を深めました。

人材不足は各業態共通の課題であり、JR貨物においても同じ事が言えます。私達貨物鉄産労はJR連合と共に魅力ある持続可能な交通運輸産業の発展に向けて引き続き取り組んでまいります。